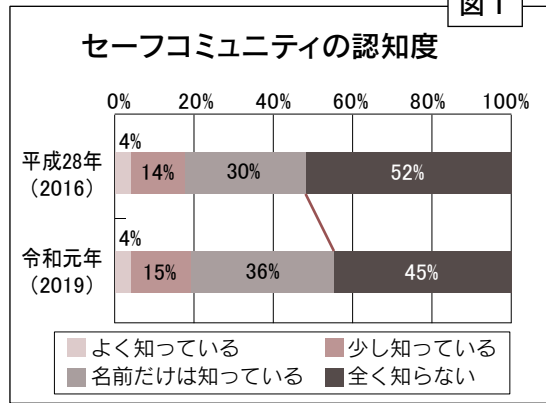


ご存じですか？

セーフコミュニティ活動

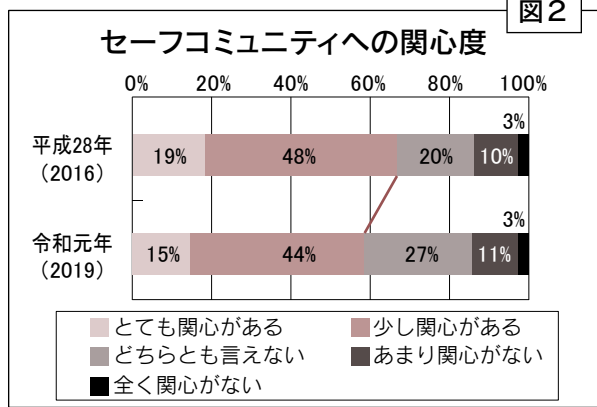
令和元年度に実施した「安全・安心なまちづくりに関する市民意識調査アンケート」では、セーフコミュニティ活動を「よく知っている・少し知っている・名前だけは知っている」と回答した方は55%となり、前回調査の48%から、若干認知度は向上しています。(図1)

図1



また、セーフコミュニティへの関心度については、「とても関心がある・少し関心がある」が59%で、前回調査の67%から若干関心度は下がり、どちらとも言えないと回答した方が増えています。(図2)

図2



このことから、セーフコミュニティについて、認知度は向上したものの、関心度は当初より薄れてきていることがわかります。

セーフコミュニティ：「事故やけがは偶然の結果ではなく、データの分析などにより予防することができるといふ基本的な考えのもと、行政や関係団体、市民の皆さんが一体となり、「共助のまちづくり」を推進することで、質の高い安全・安心なまちづくりを構築していく活動。

市民アンケート：令和元年5月実施

特に認知度が低かった取り組み	割合
ゲートキーパー養成講座の開催	7%
自転車安全ポイントの設置・周知	9%
サイクリングマップの配布	13%
ホームセンターでのチラシ配布	14%
適正飲酒啓発事業の実施	15%

市では、平成27年11月に国際認証を取得し、今後迎えることとなる「高齢化社会の到来」、「行政の財政規模の縮小」など、さまざまな環境の変化に対応するため、「世界基準の安全・安心なまちづくりを進める都市として、協働によるまちづくりであるセーフコミュニティの取り組みを推進しています。」

○認知度の向上へ向けて
アンケート結果から特に認知度が低かった5つの取り組みを紹介いたします。

- ゲートキーパー養成講座
自殺予防に関心を持ち、適切な対応ができる人材の育成を目標に行っています。多くの方にゲートキーパーの意識を持って行動していただけるよう、幅広く講座を展開しています。
 - 安全ポイントの設置・周知
自転車安全ポイントとは、サイクリングを安全に楽しめるように、空気入れやサイクリングマップなどを置いて、利活用をしてもらうものです。道の駅や市内コンビニエンスストアが、安全ポイントとなっています。
 - サイクリングマップの配布
サイクリングマップに、危険箇所を掲載して、サイクリストに注意を促しています。
 - ホームセンターでチラシ配布
農機具を購入しやすいホームセンターで、草刈機などの安全使用を呼びかけるチラシを配布しています。
 - 適正飲酒啓発事業の実施
うつ病と自殺などの問題に大きく関係しているアルコールについて、正しい飲み方ができるように、講話とスクリーニングテストを行っています。
- 多くの市民の皆さんに、取り組みを知っていただき、積極的に活動の普及・認知度の向上を図っていきます。

問 危機管理課 ☎ 22-2206